

Q1. 「マグマのちから」とは何ですか？

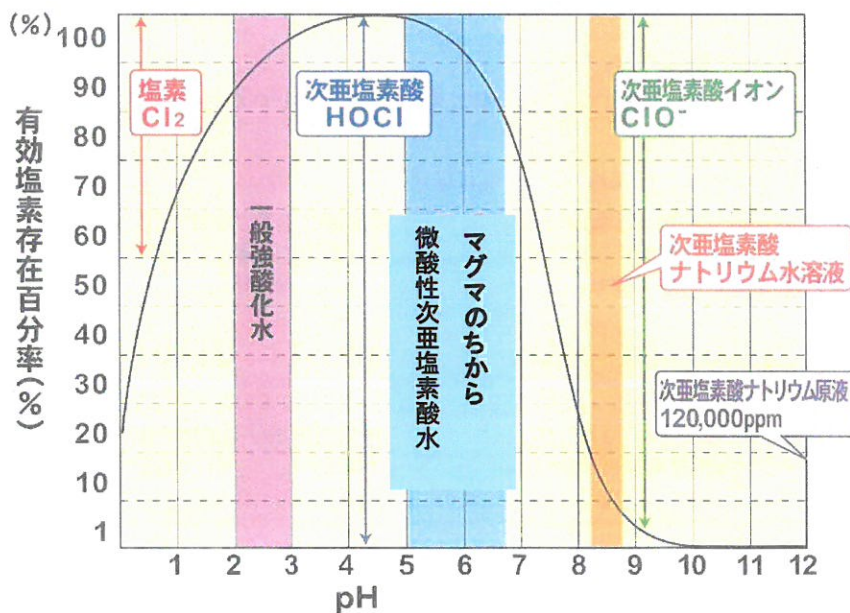
A1. 水中に含まれる次亜塩素酸の除菌作用を最大限に利用した機能水です。
次亜塩素酸ナトリウム液と炭酸ガスを混合して、最も次亜塩素酸の含有率が多い微酸性（pH5～6.5）に調整したものです。

Q2. 「マグマのちから」の特長は？

A2. 同濃度の次亜塩素酸ナトリウムの約8倍の除菌力があるので、低濃度・短時間で確実な除菌が可能です。手に触れても手荒れの心配がなく、安心してお使い頂けます。ウイルスの除菌にも抜群の効果があり、まさに次世代の除菌水として注目されています。

Q3. 「マグマのちから」の除菌能力の秘密は？

A3. 図のように、次亜塩素酸はpHが変化することで主成分が変化します。アルカリ領域では、そのほとんどが除菌力の弱い次亜塩素酸イオン(ClO^-)として存在します。通常、次亜塩素酸ナトリウムとして希釈して使用する場合は、この状態（pH8～9）で使用します。
ところが微酸性領域では、次亜塩素酸イオン (ClO^-) の約8倍の除菌力があるとされている次亜塩素酸 (HOCl) がほとんどとなり除菌力が飛躍的に高まるのです。



参考文献「浄水の技術」丹保憲仁・小笠原統一共著 技報堂出版(1985)一部加筆

Q4. なぜ安全なのですか？

A4. 「マグマのちから」は有機物に触れると失活化（菌とともに無くなる）して、水に戻る性質を持っています。ですので、残留性は無く、安全です。そのまま排水しても、浄化槽を痛めることはありません。

Q5. 次亜塩素酸ナトリウムとの違いは？

A5. 次亜塩素酸ナトリウムはアルカリ性なので、手指に消毒した場合は酷い手荒れになります。強い塩素臭、金属への腐食の問題もあり、使う場所が限られました。「マグマのちから」は手荒れもほとんどなく、塩素臭・腐食性ともに軽微なので、安全かつ幅広くお使いいただけます。

Q6. どんな菌に有効なの？

A6. ほとんどの菌、ウイルスを除去します。個別のデータについては別途お問合せ下さい。

Q7. 温度の影響は？

A7. 温度が高くなると除菌能力は高まります。但し、沸騰させると除菌成分も飛んでしまうので、50℃～60℃が限度とお考え下さい。逆に温度が5度以下になると、除菌効果は低下しますので、ご注意下さい。

Q8. 衣類についた場合は？

A8. まれに変色する場合があります。希釈した場合は、ほぼ心配いりませんが、変色して困る場合には、目立たない場所で試した後、お使い下さい。

Q9. 間違っても飲んでも大丈夫？

A9. 誤って飲んでも、皮膚についたり目に入っても大丈夫です。但し、飲用ではありません。

Q. 10 発がん性はないの？

A. 10 発がん性や細胞への影響については、安全が確認されていますので、安心してご利用いただけます。次亜塩素酸ナトリウムは、有機物と接触することでトリハロメタンが発生しますが、微酸性領域ではほとんど発生しません。（水道水と同レベル）

Q11. 消臭効果もあるの？

A11. 抜群の消臭効果があります。タバコ臭、トイレ臭、生ゴミの臭い、腐敗臭、ペット臭、香水の残り香など瞬時に消臭します。しみついた臭いや出続ける強烈な臭いには加湿器で噴霧しても効果があります。

Q12. 高いの？

A12. 使用目的によって、水道水で希釈して使えますので、大変お得です。

ほとんどの菌・ウイルスに有効なので、幅広い用途で使えます。

